

2 東京オリンピック・パラリンピック等の開催や観光庁の移転を見据えた「観光立国・日本 京都拠点」の更なる充実 (観光庁・外務省)

▶ 「観光立国・日本」実現のため、国際競争力の高い観光都市である京都の活用を

2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2019年のラグビーワールドカップ、更には、2021年に関西での開催が決定したワールドマスターズゲームズは、日本が国際社会の中で存在感を高め、日本全体に希望をもたらす絶好の機会であります。

また、昨年12月には、訪日外国人観光客が初めて1,000万人を突破し過去最高を更新したところであり、国におかれましては、東京オリンピック等の開催を契機として、2020年までに2,000万人とすることを次の目標に据えているところです。

「観光立国・日本」を実現し、この目標を達成するためには、国際競争力の高い魅力ある観光地である京都を活用することが重要と考えます。

京都は、日本の精神文化の拠点であり、伝統、文化、ものづくり、自然、学術、宗教、おもてなしを体現する我が国を代表する都市であり、その魅力をさらに高め、海外に発信することにより、訪日外国人旅行者数を拡大する大きな原動力をもっている都市であります。

つきましては、「観光立国・日本」の実現に向け、次のとおり求めます。

提案・要望事項 市・府共同提案 1(2), 3

- 1 2020年東京オリンピック・パラリンピック等の開催や観光庁の移転を見据えた観光客受入環境の整備など「観光立国・日本 京都拠点」の更なる充実
 - (1) I L T M J a p a nの更なる拡充など、ラグジュアリー層の積極的誘致
 - (2) 世界博物館大会などM I C Eの共同誘致
 - (3) 免税店に関する手続きの簡素化など外国人観光客受入環境整備
 - (4) 次世代の観光産業を担う人材育成
 - (5) 総合特区支援利子補給金予算の増額による宿泊施設や商業施設等の産業観光施設の整備促進
- 2 海外日本大使館、在日海外大使館等と連携し、京都セミナーの開催、海外における京都の伝統産業、京料理や日本酒を代表とする和食などの食文化の紹介
- 3 新興国からの訪日観光促進のための観光査証免除を含めた発給手続きの簡素化

所管の省庁課：観光庁（総務課）、外務省（領事局外国人課）

京都市の担当課：産業観光局 観光MICE推進室 担当部長 九鬼令和 TEL 075-746-2587

産業観光局 観光MICE推進室 観光おもてなし課長 荒木裕一 TEL 075-746-2602

歴史都市・京都の魅力

- ❑ 山紫水明の自然
～市内の4分の3は森林～
- ❑ 宗教都市
～精神文化の拠点～
- ❑ 環境先進都市
～京都議定書誕生の地～
- ❑ 歴史都市
～国宝の20%、重要文化財の15%が京都に～
- ❑ 文化芸術都市
～茶道、華道、香道、能、狂言、芸術系大学～
- ❑ 国際都市・多文化共生都市
～世界文化自由都市宣言～

その他にも、「大学のまち・学生のまち」、「ものづくり都市」、「ものがたりづくり都市」、「教育先進都市」など、多様な都市の特性で世界の人々を魅了し続けるまち・京都



世界の旅行情報誌でも高い評価！

- ・「コンデナストラベラー」
→「アジア都市部門(2013)」(アジア)で**1位**
- ・「トラベルアンドレジャー」
→「世界観光都市ランキング(2013)」(世界)で**5位**

京都市における取組

- ❑ 入洛観光客 5,000 万人の達成 (平成 20 年)
- ❑ MICE 振興の重要性に鑑み、他の自治体に先駆けて「京都市 MICE 戦略」を策定するとともに、「未来・京都観光振興計画 2010⁺」を策定 (平成 22 年)
⇒2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催に照準を合わせ、次期観光振興計画を予定より前倒しして、平成 26 年秋に策定予定
- ❑ 観光庁と共同プロジェクト「観光立国・日本 京都拠点」を開始 (平成 23 年 1 月～)

5,000 万人感動都市の実現へ！

《ILTM Japan の開催》

日本で唯一京都で開催！！

- | | |
|-------------|----------------------|
| ●過去の開催実績 | ●成果 |
| 平成 25 年 3 月 | 約 50 社のバイヤーの他、宿泊施設や |
| 平成 26 年 3 月 | メディア関係者も含め約 160 名が参加 |



- ❑ 「グローバル MICE 戦略都市」に選定され (平成 25 年 6 月)、観光庁と共同事業を実施中
- ❑ 京都ならではのおもてなしの向上に向けた取組を推進

《観光案内標識アップグレード》

- 平成 21 年 12 月から実施
- 「歩く観光」を推進するため、京都の景観に調和したデザイン、2 箇国語表記等による標識を整備

《多言語コールセンターの実施》

- 平成 23 年 9 月から実施
- 5 言語 (英・中・韓・スペイン・ポルトガル) で 24 時間対応
- 宿泊施設、市バス・地下鉄施設で実施
- 平成 25 年 5 月からは大津市・奈良市と共同実施

《「KYOTO_WiFi」(京都どこでもインターネット)の整備》

- 平成 24 年 5 月から実施
- 市バス停留所やコンビニエンスストアを中心に設置 (25 年度末: 602 箇所)

《バス・鉄道乗換アプリ「歩くまち京都」の運用》

- 平成 25 年 8 月から実施 **全国初！！**
- バス到着時刻を予測する機能も搭載したバス・鉄道乗換アプリ「歩くまち京都」の運用を開始
など

2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催等を見据え、
観光立国実現に向けて、「観光立国・日本 京都拠点」を更に充実させることが必要！

提案事項

MICE 積極的誘致の推進、外国人観光客受入環境整備、総合特区支援利子補給金予算の増額など、
「観光立国・日本 京都拠点」の更なる充実を！